

公開情報資料

整理番号	2024.01-1	
研究課題名	COVID-19 流行後における原因不明の小児急性肝炎の発生に関する第3回全国実態調査	
研究期間	2022年7月1日～2023年12月31日	
研究目的	2022年に入り、欧米から「原因不明の小児急性肝炎」について報告があり、症例数が多いこと、肝移植例など重症例が多いことが問題となっている。この小児急性肝炎は、アデノウイルスや新型コロナウイルス感染症流行との関係が示唆されており、新たなタイプの急性肝炎の発生・増加が示唆されている。本研究は、新型コロナウイルスの流行期より以降の小児急性肝炎の症例定義に該当した症例数や性別、年齢の他、より重症な症例の割合、ステロイド治療や肝移植の有無、転帰、原因病原体を明らかにすることを目的とする。	
研究方法	研究対象範囲	2022年7月1日～2023年12月31日に、16歳以下で急性肝炎を発症した場合
	利用する情報等	発症時年齢、性別、発症年月、血液検査項目、ステロイド治療、肝移植、転帰、原因病原体の情報
	利用方法	下記のとおり
	他機関への提供	上記対象者の情報を神奈川県衛生研究所へ提供する。提供に際しては、個人情報保護の観点から、研究用番号を付けて匿名化する。
研究責任者	岡山赤十字病院小児科 藤井洋輔	
問合せ先	岡山赤十字病院ホームページの[お問い合わせ]ボタンからメールにてお問い合わせください。	

